

見学生徒からのたより

美唄中学校では、郷土の実情を知るため、市内の各公共機関、企業等を訪問し社会科研修を行っているが、当场にも10月4日午前9時から11時まで、武田忠明君等13名が、林業試験場の果している役割を理解するため、に來場した。

まず種子貯蔵庫で、その役割や貯蔵の方法などを説明し、ついで緑化樹展示園、実験苗畑、トドマツ類集植所等を順路に沿って歩きながら質疑応答をまじえて見学したのち、研修講堂において試験研究の概要と補足説明並びに質疑などを行った。

生徒達はみな真剣で、大変素朴な質問や難問がとび出し汗をふきふきの応答であったが、楽しい2時間であった。

最近、子供達から学習レポートとともにお礼の便りがあったので読ませてもらったが、改めて解りやすく説明する難しさを痛感した。

以下、礼状を原文のまま掲載する。

(業務課 岡崎敏人)

十月四日に、林業試験場を見学させていただき、たいへんありがとうございました。

初めみんなは、ただ木を育てているだけかと思いましたが、見学させてもらい、たいへん「参考になったなあ。」と思って帰って来ました。

見学させてもらって、とても感心したことがいろいろありました。

一つは、花木園で、南の方の花や木を育てていたことでした。

こんな寒い北海道で、南の方の木がよく育つなあと思って、きいていました。

あと、僕達が行ったのが、もうすぐ秋という時に行ったため、木の花が咲いているのを見れなくて、とても残念でした。係員のおじさんが、春にすれば、きれいな花が咲いているのを、見られたのにといわれて、残念でした。

二つめは、種子貯蔵庫でした。

木からとれた種を、0℃以下で貯蔵しておいて、湿気や温度を調節していく、これは、たいへんなことだと思います。また、その種を、何年かして出して、植えるとは、まったくよく考えた物だと思って、聞いていました。

三つめは、木と木をつなげる、接ぎ木です。

実際に、見せてもらった木を見ると、ちがう木がちゅうで、つながれているのが、はっきりわかりました。

でも、りんごの接ぎ木などは、聞いたことはありますが、普通の木が、接ぎ木されているなどとは、しりませんでした。

これらのことがわかり、ありがとうございました。

たいへんいそがしいおり、おじゃまして、めいわくをおかけして、すいませんでした。

最後に、林業試験場を、見学して見て、いろいろな研究で緑をたやさないようがんばって下さい。

美唄中学校 一年三組 見学者一同

Rosa marretii LEV.

カラフトイバラ

